

U7000UJC181(82CH機) RTK補正信号運用 推奨設定



この資料は、U7000UJC181 82CH機専用の推奨設定です。

ファームウェアのバージョンにより、メニュー項目が一部異なります。

■各設定 基本メニュー操作

この基本操作で各設定の変更を行います。

①電源OFF状態。

② P1 ボタンを押しながら電源スイッチを押す。

設定モード表示後、(UC)コードメニューが表示。



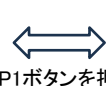
(UC)ユーザーコード表示

③ ▲ 又は ▼ ボタンで各設定メニューを変更(スクロール)します。

④設定変更したいメニューが表示されましたら

P1 ボタンを押してカーソルを右側に移動(点滅)します。

右側が各設定値です。



P1ボタンを押す

⑤設定の変更は各ID系がロータリースイッチを回す。

他の設定は▲▼ボタンを押して変更します。



ロータリースイッチ



ボタン

⑥各設定を完了後、再び P1 ボタンを押してカーソルを左側に移動します。

⑦全ての設定が完了しましたらカーソルが左側(点滅)にあることを確認して電源をOFFにします。

■基地局設定

①各ID設定

→**UC**(ユーザーコード)を設定しましょう。設定範囲は001～511です。

→**GID**(グループID)を設定します。設定範囲は01～99です。

→**OID**(個別ID)は、「00」に設定します。

② **RTO**(送信維持時間)が「10」に表示されているかご確認ください。

05⇒0.5秒、10⇒1秒、20⇒2秒のいずれから設定します。

初期値、推奨値とも「10」です。

③**USP**(ボーレート)シリアルスピード

→**「38」**(38400bps)に設定します。初期値は、「96」(9600bps)です。

GNSS機器側も同設定にしてください。

④PKT送信バッファ設定

従来機では無線機のバッファ4095バイトを使用して補正データを送信していましたが、このバッファを使用しない事で直近の補正データ送信が可能となりました。このPKT機能はデータ量を自動識別して送信を行いますのでAgeの短縮と安定度が向上します。

PKTを「0」(バッファを使用しない)に設定します。

初期値は、「OFF」(バッファを使用する)です。



「0」に設定

■移動局設定

①各ID設定

- UC(ユーザーコード)は、基地局と同じ設定にします。
- GID(グループID)は、基地局と同じ設定にします。
- OID(個別ID)は、「00」以外に設定します。設定範囲は01～99です。

②USP(ボーレート)シリアルスピード

- 「38」(38400bps)に設定します。初期値は、「96」(9600bps)です。

GNSS機器側も同設定にしてください。

※移動局側では、RTOとPKTの設定は不要です。

■その他

○チャンネル設定

1CHの設定は避けましょう。使用頻度が高いので混信となります。

30CH以降で設定しましょう。

○アンテナ設置

基地局と移動局ともに無線機アンテナとGNSSアンテナの距離は1m以上離してください。

また、基地局側のアンテナマスト(ポール)とアンテナを平行にして設置の際は、1m以上離してください。

電波の放射効率が悪化します。アンテナマストの頭上が理想です。

○基地局の無線機は高温になります。

無線機の負担を軽減する為にも、風通しを良くする、またファンなどで強制冷却を行ってください。